INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2019年第31週
（7月29日～8月4日）

＊ 2019年8月7日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
http://survey.tokyo-eiken.go.jp/
＊ 今週は感染症豆知識「麻疹対策－世界の現状と日本の現状」も掲載しています。

令和元年(2019年)8月8日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電　話：03－3363－3213(直通)
ＦＡＸ：03－5332－7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 （一類～四類） 2019年31週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		28週	29週	30週	**31週**	年累計	**31週**	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	82	45	69	71	1,886	361	12,660
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	中東呼吸器症候群 *2							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					2		3
	細菌性赤痢	1	1			13		54
	腸管出血性大腸菌感染症	18	13	7	9	163	107	1,744
	腸チフス					3	1	20
	パラチフス					3		11
四類	E型肝炎	5	5			77	6	312
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	4	2	2	8	92	11	282
	エキノコックス症						1	12
	黄熱							
	オウム病					3		11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症						1	2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 *3					1	1	61
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2	2	15
	つつが虫病							81
	デング熱	2		1	3	55	8	192
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)							

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		28週	29週	30週	**31週**	年累計	**31週**	年累計
四類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						10	116
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア			1		8		26
	野兎病							
	ライム病							7
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	7	8	4	6	110	97	1,265
	レプトスピラ症					1		6
	ロッキー山紅斑熱							

2019/8/7集計

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 71件 患者および死亡後診断 43件(肺結核 36件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 26件、疑似症 2件、年齢は20代 10件、30代 6件、40代 12件、50代 4件、60代 10件、70代 13件、80代 12件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 46件、ネパール 1件、フィリピン 1件、ベトナム 1件、ミャンマー 1件、国内又は中国 1件、国内不明又はフィリピン 1件、国外(渡航先不明) 1件、不明 18件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 9件 患者 6件、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O103 VT1 1件、O157 VT1・VT2 4件、O157 VT2 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10歳未満 1件、10代 2件、20代 3件、30代 1件、70代 2件、推定感染地は国内 8件、韓国 1件、推定感染経路は経口感染 5件、経口感染又は接触感染 1件、不明 3件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 8件 患者 8件、年齢は10代 1件、20代 3件、40代 2件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 6件、バングラデシュ 1件、韓国 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、経口感染 4件、不明 2件、A型肝炎ワクチン接種歴無し 7件、不明 1件であった。

デング熱 3件 病型はデング熱 3件、血清型は1型 1件、2型 1件、不明 1件、年齢は10代 1件、40代 2件、推定感染地はベトナム 1件、マレーシア又はインドネシア 1件、ラオス 1件であった。

レジオネラ症 6件 病型は肺炎型 4件、ポンティアック熱型 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、70代 1件、80代 3件、推定感染地は国内 3件、国内又はタイ 1件、不明 2件、推定感染経路はすべて不明であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 1件、腸管外 1件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 3件 B型 3件、年齢は20代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、ベトナム 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴無し 1件、不明 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 7件 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 3件、エンテロバクター属菌 1件、肺炎桿菌 3件、年齢は30代 1件、60代 1件、70代 2件、80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 6件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 3件、手術部位感染 1件、医療器具関連感染 1件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴はすべて無し であった。

急性脳炎 2件 病原体はインフルエンザウイルスA型 2件、年齢は10代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件であった。2件は同一の学校関係者であった。

全数把握対象疾患　報告数　（五類）　2019年31週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		28週	29週	30週	**31週**	年累計	**31週**	年累計
五類（全数届出）	アメーバ赤痢	2	4	5	2	103	10	516
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	3	2	5	3	56		197
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	2	7	110	29	1,189
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					3	1	49
	急性脳炎 *2			1	2	51	6	565
	クリプトスポリジウム症					2		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12	2	107
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	4	5	3	80	12	569
	後天性免疫不全症候群	5	6	10	9	230	19	698
	ジアルジア症					3	1	27
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	1	3	1	57	6	358
	侵襲性髄膜炎菌感染症		1			2	1	28
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	3	3	2	251	16	2,194
	水痘(入院例に限る)	3	1		1	41	6	294
	先天性風しん症候群					1		3
	梅毒	38	21	36	24	1,033	62	3,894
	播種性クリプトコックス症		1			9	1	91
	破傷風					4	1	73
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				5		46
	百日咳	35	10	32	25	908	231	10,110
	風しん	21	15	19	10	772	19	2,061
	麻しん				2	103	4	671
	薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		18

2019/8/7集計

*1　2018年5月1日より追加指定された。

*2　ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症　3件　血清群はA群 1件、B群 1件、G群 1件、年齢は70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路はすべて不明であった。80代の患者　2件は死亡が確認された。

後天性免疫不全症候群　9件　AIDS 2件、無症候キャリア 7件、性別は男性 9件、AIDS患者の年齢は20代 1件、40代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 3件、30代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 8件、異性間 1件)であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症　1件　血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症　2件　血清型はすべて検査未実施、年齢は60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は不明 2件であった。

水痘（入院例）　1件　検査診断例、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明 、水痘ワクチン接種歴無し であった。

梅毒　24件　患者 16件（早期顕症梅毒Ⅰ期 6件、早期顕症梅毒Ⅱ期 10件）、無症候梅毒 8件、性別は男性 18件、女性 6件、年齢は10代 2件、20代 7件、30代 8件、40代 6件、50代 1件、推定感染地は国内 19件、不明 5件、推定感染経路は性的接触 24件(同性間 9件、異性間 10件、性別不明 5件)であった。

百日咳　25件　年齢は10歳未満 12件(うち5歳未満 4件)、10代 4件、20代 2件、30代 2件、40代 1件、50代 2件、60代 2件、推定感染地は国内 18件、不明 7件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 10件、1回接種済み 1件、無し 2件、不明 12件であった。

風しん　10件　すべて検査診断例、年齢は20代 5件、30代 1件、40代 4件、推定感染地は国内 7件、不明 3件、推定感染経路は飛沫感染 5件、飛沫感染又は接触感染 1件、不明 4件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種済み 2件、無し 1件、不明　7件であった。

麻しん　2件　検査診断例 2件、遺伝子型はD8 1件、不明 1件、年齢は5歳未満 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種済み 1件、無し 1件であった。

※ 第30週で報告のあった〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件は削除された。
※ 第28週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件の追加報告があった。
※ 第30週該当分として〔五類〕梅毒 1件、百日咳 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患　報告数　2019年31週

上段:報告数
下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年				報告医療機関数	定点医療機関数
		28週	29週	30週	**31週**		
小児科	RSウイルス感染症	209	209	365	560	259	264
		0.80	0.80	1.41	2.16		
	咽頭結膜熱	118	110	101	82		
		0.45	0.42	0.39	0.32		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	569	481	464	338		
		2.19	1.84	1.79	1.31		
	感染性胃腸炎	1,362	1,074	1,107	900		
		5.24	4.10	4.27	3.47		
	水痘	137	91	125	86		
		0.53	0.35	0.48	0.33		
	手足口病	3,859	3,982	4,834	3,209		
		14.84	15.20	18.66	12.39		
	伝染性紅斑	83	87	91	76		
		0.32	0.33	0.35	0.29		
	突発性発しん	105	99	118	113		
		0.40	0.38	0.46	0.44		
	ヘルパンギーナ	1,179	1,025	1,314	927		
		4.53	3.91	5.07	3.58		
	流行性耳下腺炎	33	27	17	18		
		0.13	0.10	0.07	0.07		
	川崎病 *1	1	2	3	2		
		0.00	0.01	0.01	0.01		
	不明発しん症 *1	21	26	37	37		
		0.08	0.10	0.14	0.14		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	36	36	36	55	408	419
		0.09	0.09	0.09	0.13		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	9	9	14	16		
		0.24	0.24	0.37	0.42		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1			2	25	25
		0.04			0.08		
	無菌性髄膜炎	1	2		1		
		0.04	0.08		0.04		
	マイコプラズマ肺炎	2	4	5	5		
		0.08	0.16	0.20	0.20		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1		2		
			0.04		0.08		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	1	1				
		0.04	0.04				
	インフルエンザ入院	1	1		3		
		0.04	0.04		0.12		
						2019/8/7集計	

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
*2 鳥インフルエンザを除く。
*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- **ＲＳウイルス感染症**の定点当たり報告数の増加が続いています。
- **手足口病**の定点当たり報告数は減少しましたが、都内全保健所管内で警報レベルが続いています。
- **ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は減少しましたが、警報レベルが続いています。

定点把握対象疾患　報告数【年齢階級別】2019年31週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	52			9		38		2	4		
6～11か月	123	5	1	79	5	371	1	24	67		1
1歳	218	15	5	137	1	1,098	6	57	207	1	
2歳	109	18	21	89		702	11	14	181		1
3歳	35	10	36	93	4	340	13	12	140	3	
4歳	15	7	42	91	7	229	12	3	112	3	
5歳	6	10	61	69	10	152	10		85	2	
6歳	1	5	38	47	16	83	9	1	41	1	
7歳	1	4	37	27	7	40	3		18	3	
8歳		3	17	37	13	30	4		20	3	
9歳			21	38	8	17	3		15	1	
10～14歳		1	33	67	12	37	3		25	1	
15～19歳			6	13	1	11			3		
20～29歳		4	20	104	2	61	1		9		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	560	82	338	900	86	3,209	76	113	927	18	2
先週比	195	-19	-126	-207	-39	-1,625	-15	-5	-387	1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月					1	1				
6～11か月	7									
1歳	10	3		1						
2歳	4	1		1						
3歳	3	4		1			1			
4歳	2	5								
5歳	3	8								
6歳	2	3		1			1	1		1
7歳	2	2								1
8歳	2	4								
9歳	1	1					1			
10～14歳	1	7		1						
15～19歳										
20～29歳		3		2						
30～39歳		8		4						
40～49歳		3		1						
50～59歳		3		2						
60～69歳				2			1	1		
70～79歳					1		1			1
80歳以上										
合計	37	55		16	2	1	5	2		3
先週比		19		2	2	1		2		3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患　定点医療機関当たり報告数【保健所別】2019年31週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.67					3.67		0.33	1.33		
中央区	4.00		3.00	12.33		14.00		0.33	2.67		
みなと	2.83	0.50	2.00	1.83	0.17	9.17		0.33	2.00	0.17	
新宿区	3.38	0.38	1.38	4.50	0.25	7.13		0.38	2.25		
文京	0.50	0.50	0.75	2.25	0.25	15.25		1.00	2.25		
台東	6.00	0.25	1.00	5.00	0.50	25.75	0.50		10.50	0.25	
墨田区	1.20		0.40	2.60		11.60		0.20	4.40		
江東区	5.56	0.11	1.78	5.78	0.89	10.89		0.78	2.89		0.11
品川区	0.63	0.13	1.25	3.38	0.38	10.50	0.25	0.25	2.88	0.25	
目黒区	2.00		1.60	5.20		12.00		0.20	0.80		
大田区	3.25	0.83	2.83	4.83	0.58	15.67	0.58	0.50	3.67	0.17	
世田谷	2.50	0.50	0.81	2.94	0.44	8.56	0.19	0.50	2.56	0.13	
渋谷区				2.25		5.00		0.75	1.50		
中野区	2.50	0.17	2.33	2.83	0.67	19.17	0.17	0.33	3.00		
杉並	1.55	0.64	0.82	3.73	0.18	6.55	0.18	0.45	2.36	0.09	0.09
池袋	7.25	0.25	0.25	2.25		6.00		0.25	0.50		
北区	0.14		0.43	2.86	0.29	10.00	0.14	0.71	3.71		
荒川区	2.75	0.50	2.25	4.00	0.25	21.50	2.50	1.25	6.25		
板橋区	0.90	0.20	0.50	1.70		6.50	0.20	0.20	2.10		
練馬区	2.23	0.23	1.46	3.46	0.77	9.62	0.69	0.62	5.38		
足立	2.69		0.77	3.38	0.15	12.31	0.15	0.38	3.62		
葛飾区	0.38		0.75	5.88		7.75	0.13	0.38	2.25	0.13	
江戸川	2.67	0.33	1.67	2.33	0.17	4.75	0.83	0.17	2.17	0.08	
八王子市	2.73	0.27	3.09	5.82	0.55	20.00	0.27	0.45	10.91	0.18	
町田市	0.38	0.25	1.50	4.13	0.50	12.75		0.38	4.75		
西多摩	0.13	0.25	0.75	3.25	0.38	10.75		0.13	2.75		
南多摩	0.78	0.33	0.78	2.78	0.22	18.56	0.11	0.33	4.89		
多摩立川	1.00	0.07	0.57	2.00	0.21	14.64	0.50	0.14	3.71		
多摩府中	1.74	0.37	1.16	2.84	0.21	17.26	0.53	0.68	3.79	0.16	
多摩小平	4.07	1.07	2.21	2.93	0.71	20.43	0.21	0.64	2.79	0.14	
島しょ						5.00			2.00		

東京都	2.16	0.32	1.31	3.47	0.33	12.39	0.29	0.44	3.58	0.07	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	インフルエンザ入院
千代田										
中央区				1.00						
みなと		0.33					2.00	1.00		
新宿区							0.50			
文京										
台東	0.25									
墨田区	0.80	0.13			1.00		1.00			
江東区	0.11	0.07								
品川区	0.25	0.17								
目黒区		0.38								
大田区	0.17	0.05		1.00						
世田谷		0.08		0.50	0.50	0.50				1.00
渋谷区	0.25	0.14								
中野区				1.00						
杉並		0.24		1.00						
池袋				3.00			1.00	1.00		
北区	0.14									
荒川区		0.29								
板橋区	0.30	0.25								1.00
練馬区				1.00						
足立		0.15		1.00						
葛飾区	0.25	0.15		1.00						
江戸川	0.25	0.26		0.50						
八王子市	0.09									
町田市	0.13	1.15								
西多摩										
南多摩										
多摩立川	0.07									
多摩府中	0.68	0.03		0.33						
多摩小平	0.07	0.23								
島しょ										

東京都	0.14	0.13		0.42	0.08	0.04	0.20	0.08		0.12

定点把握対象疾患　報告数【保健所別】2019年31週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病
千代田	2					11		1	4		
中央区	12		9	37		42		1	8		
みなと	17	3	12	11	1	55		2	12	1	
新宿区	27	3	11	36	2	57		3	18		
文京	2	2	3	9	1	61		4	9		
台東	24	1	4	20	2	103	2		42	1	
墨田区	6		2	13		58		1	22		
江東区	50	1	16	52	8	98		7	26		1
品川区	5	1	10	27	3	84	2	2	23	2	
目黒区	10		8	26		60		1	4		
大田区	39	10	34	58	7	188	7	6	44	2	
世田谷	40	8	13	47	7	137	3	8	41	2	
渋谷区				9		20		3	6		
中野区	15	1	14	17	4	115	1	2	18		
杉並	17	7	9	41	2	72	2	5	26	1	1
池袋	29	1	1	9		24		1	2		
北区	1		3	20	2	70	1	5	26		
荒川区	11	2	9	16	1	86	10	5	25		
板橋区	9	2	5	17		65	2	2	21		
練馬区	29	3	19	45	10	125	9	8	70		
足立	35		10	44	2	160	2	5	47		
葛飾区	3		6	47		62	1	3	18	1	
江戸川	32	4	20	28	2	57	10	2	26	1	
八王子市	30	3	34	64	6	220	3	5	120	2	
町田市	3	2	12	33	4	102		3	38		
西多摩	1	2	6	26	3	86		1	22		
南多摩	7	3	7	25	2	167	1	3	44		
多摩立川	14	1	8	28	3	205	7	2	52		
多摩府中	33	7	22	54	4	328	10	13	72	3	
多摩小平	57	15	31	41	10	286	3	9	39	2	
島しょ						5			2		

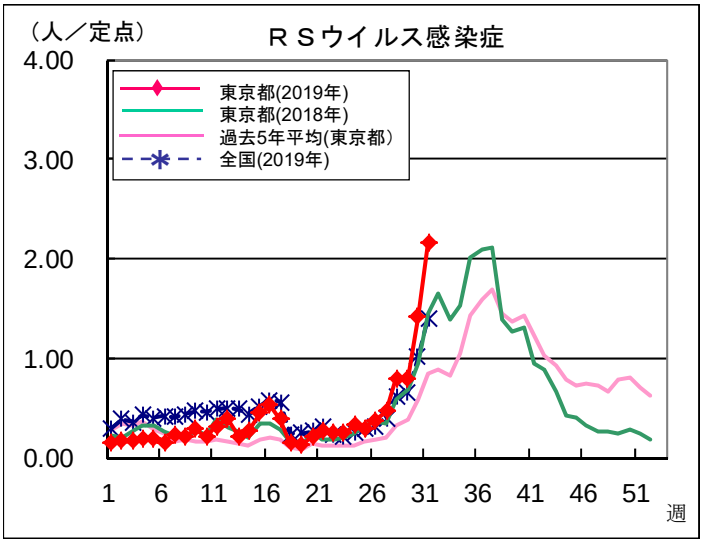
東京都合計	560	82	338	900	86	3,209	76	113	927	18	2

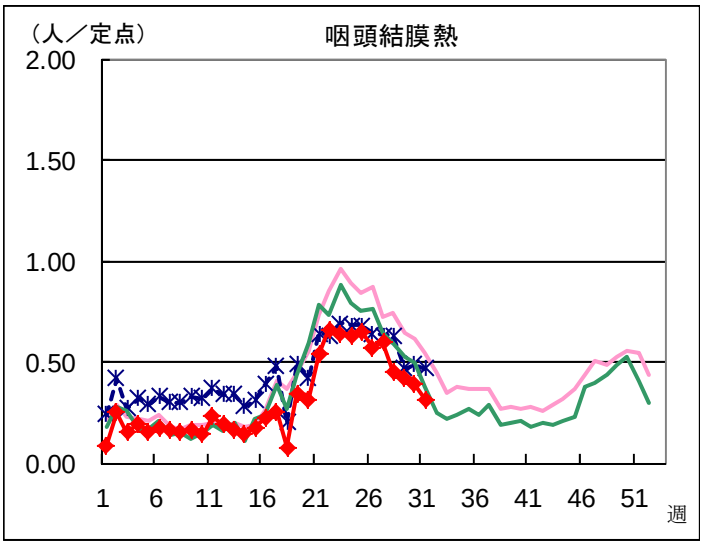
	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	インフルエンザ入院
千代田										
中央区				1						
みなと		3					2	1		
新宿区							1			
文京										
台東	1									
墨田区	4	1			1		1			
江東区	1	1								
品川区	2	2								
目黒区		3								
大田区	2	1		2						
世田谷		2		1	1	1				2
渋谷区	1	1								
中野区				1						
杉並		4		1						
池袋				3			1	1		
北区	1									
荒川区		2								
板橋区	3	4								1
練馬区				2						
足立		3		2						
葛飾区	2	2		1						
江戸川	3	5		1						
八王子市	1									
町田市	1	15								
西多摩										
南多摩										
多摩立川	1									
多摩府中	13	1		1						
多摩小平	1	5								
島しょ										

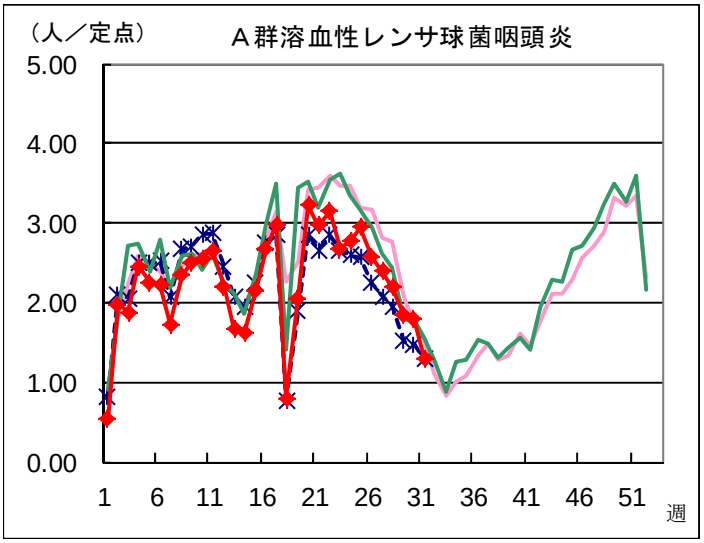
東京都合計	37	55		16	2	1	5	2		3

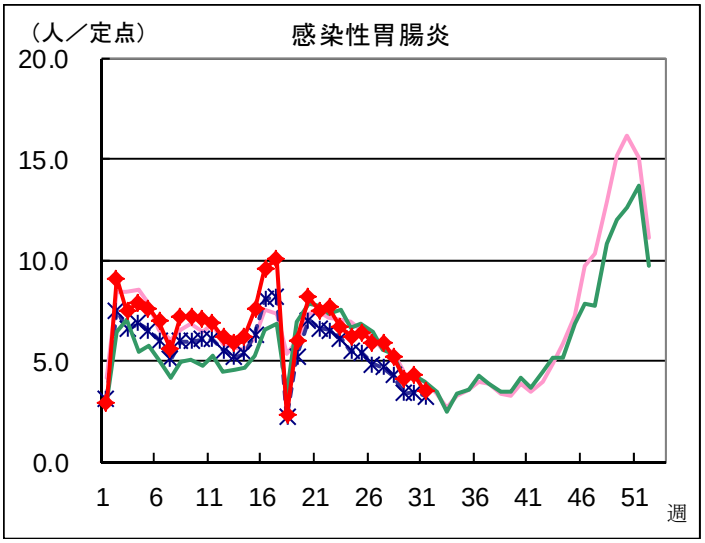
定点把握対象疾患　定点医療機関当たり報告数（2019年31週 現在）

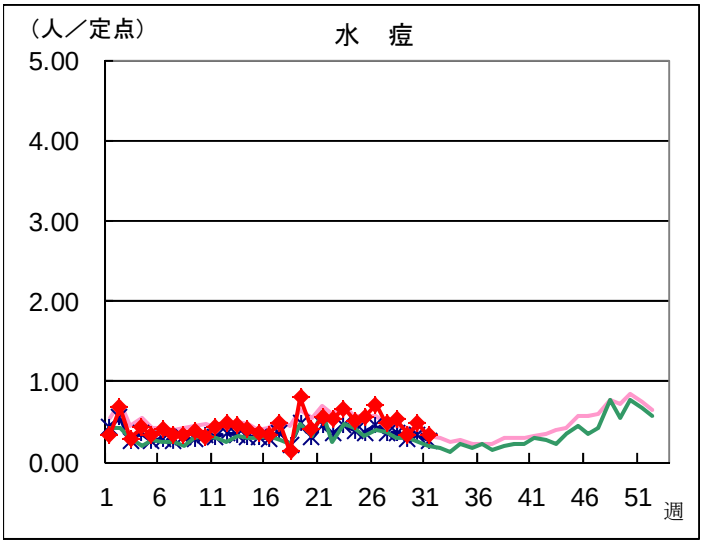
◆ 小児科定点

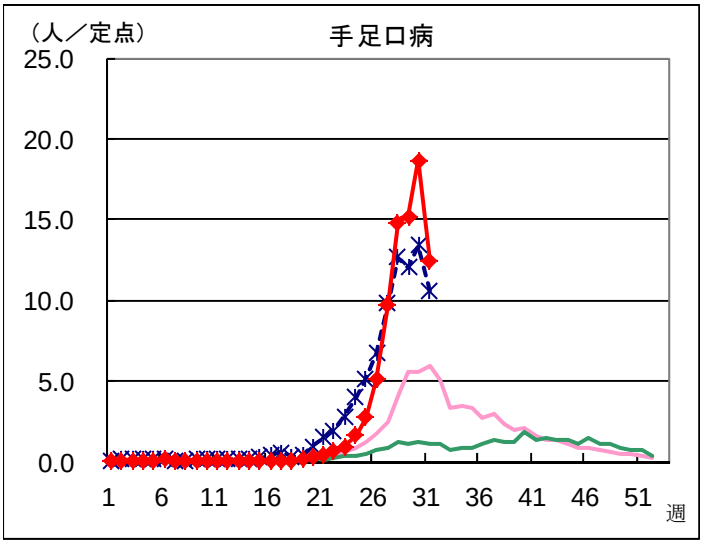


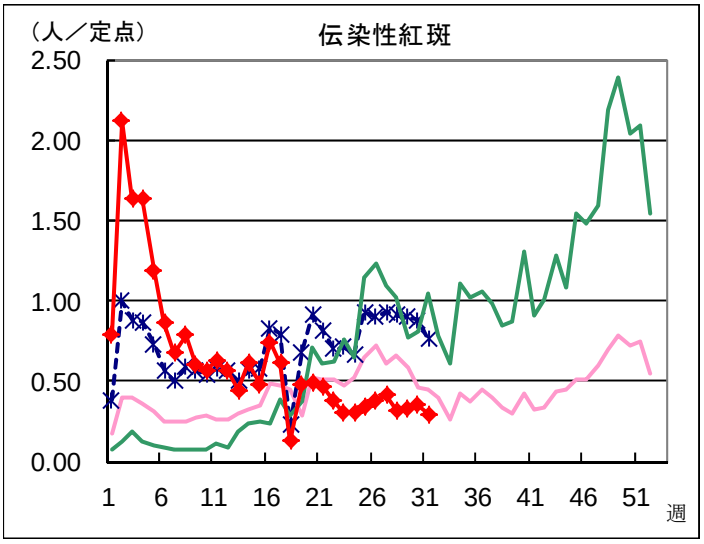


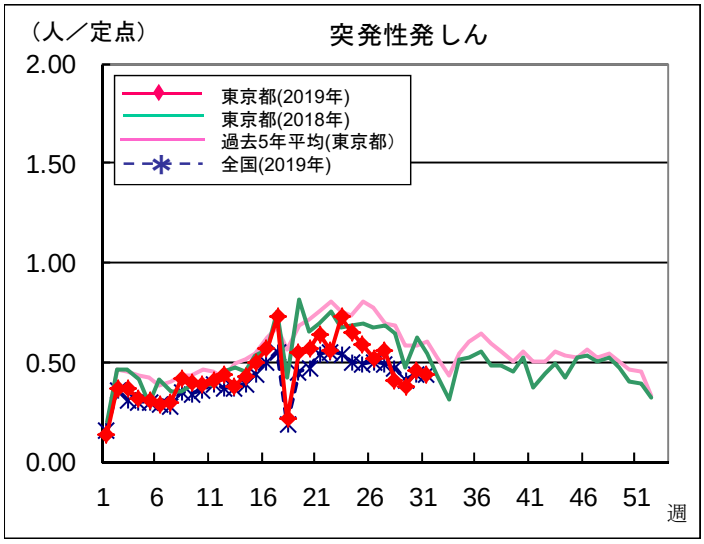


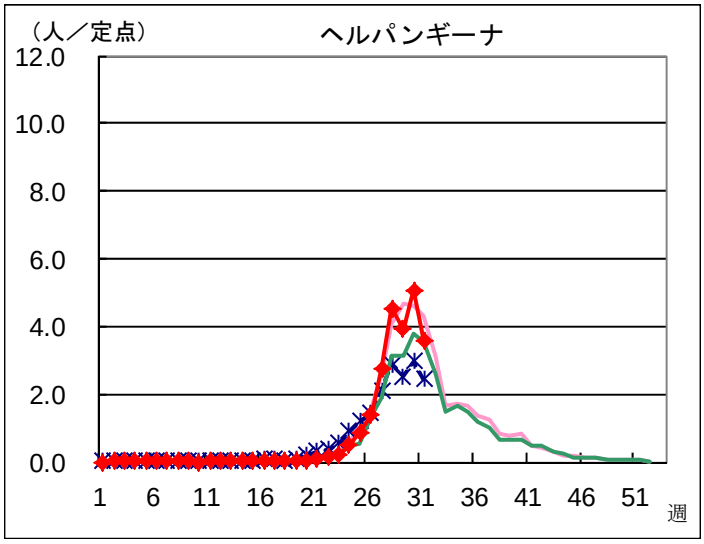


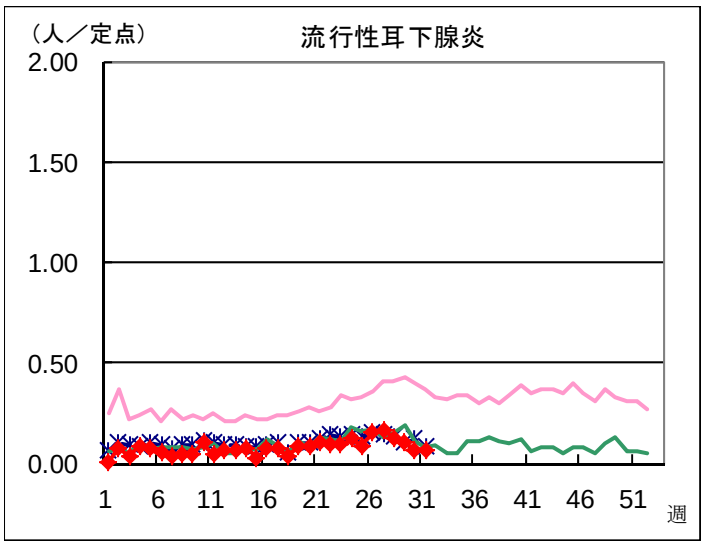


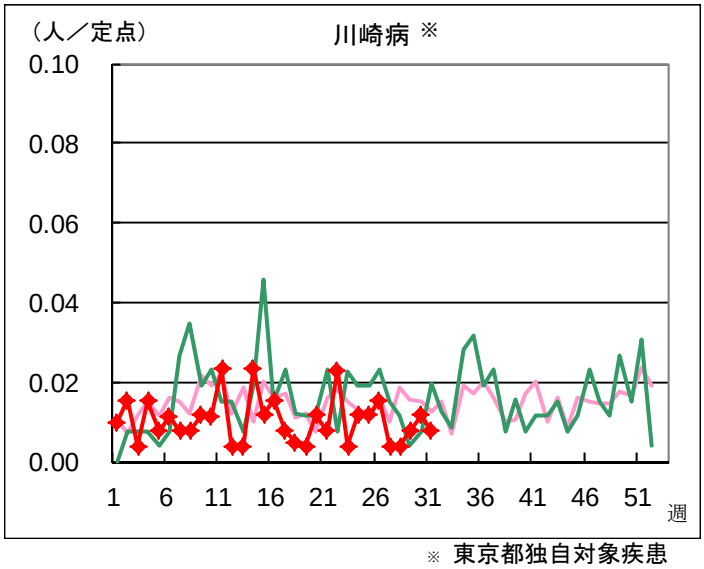




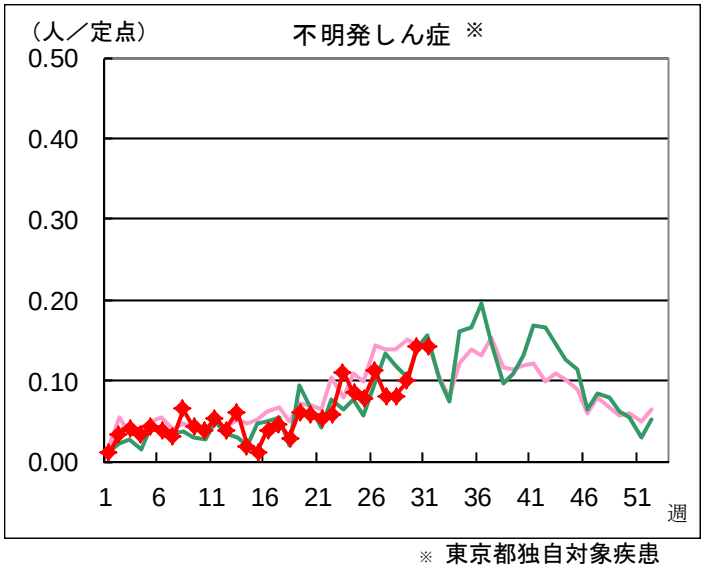






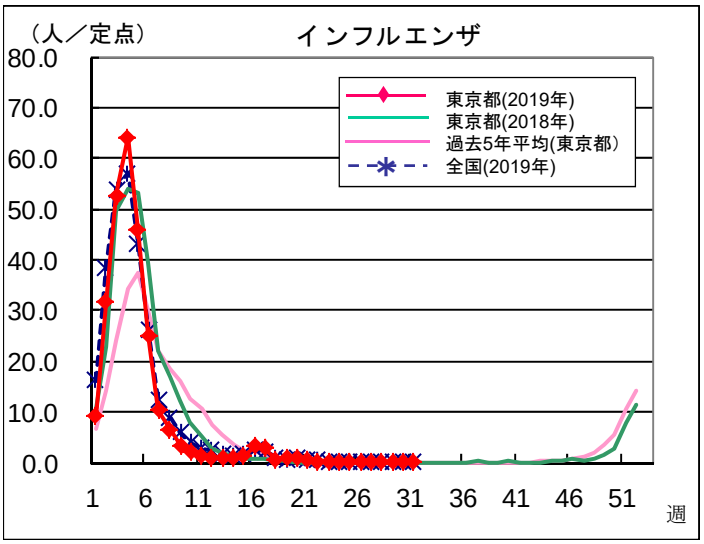


※ 東京都独自対象疾患

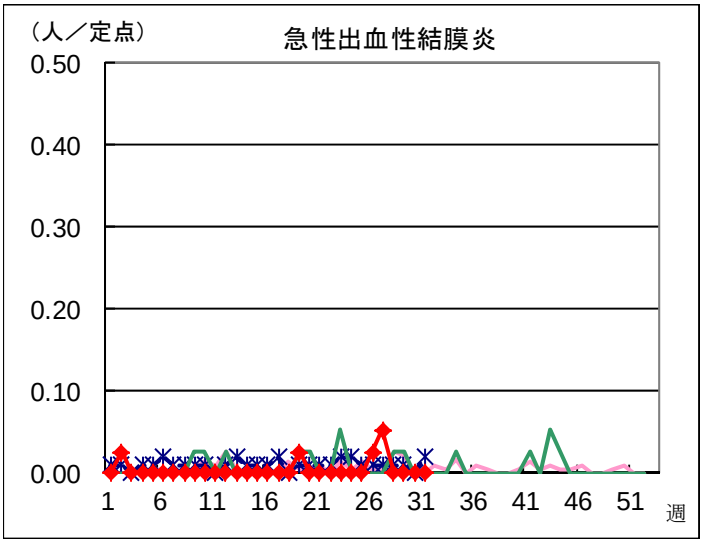


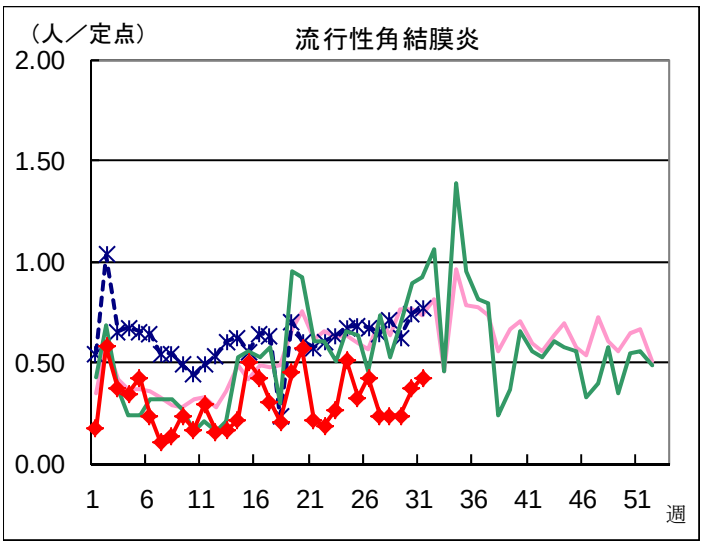
※ 東京都独自対象疾患

◆ インフルエンザ定点

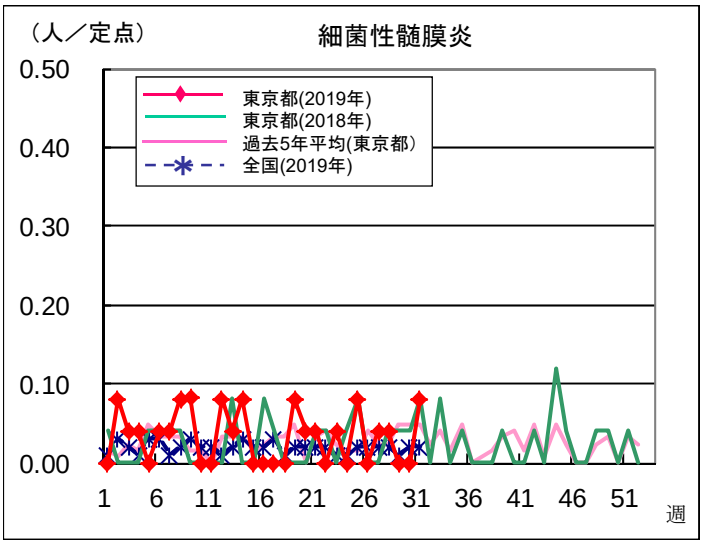


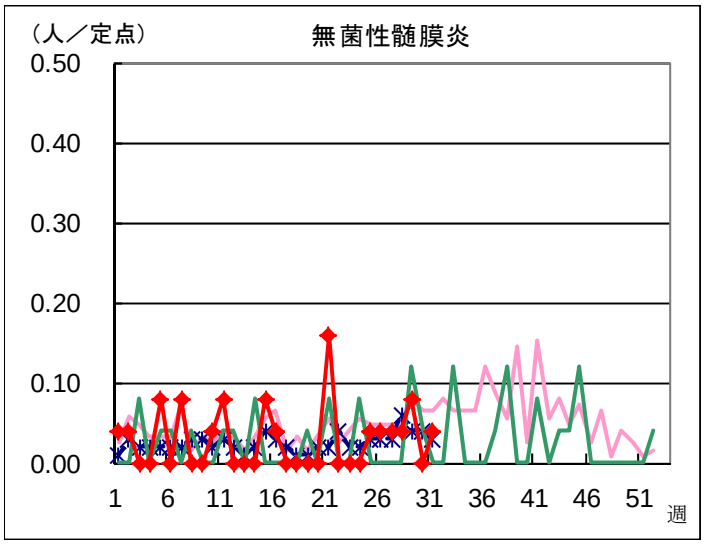
◆ 眼科定点

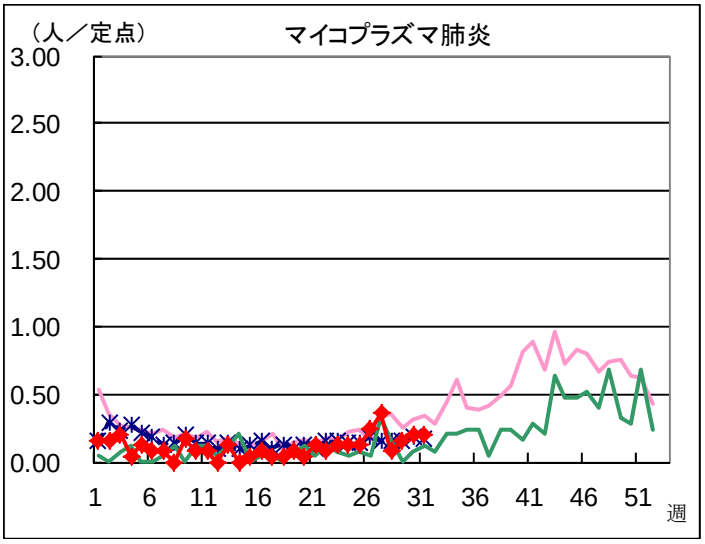


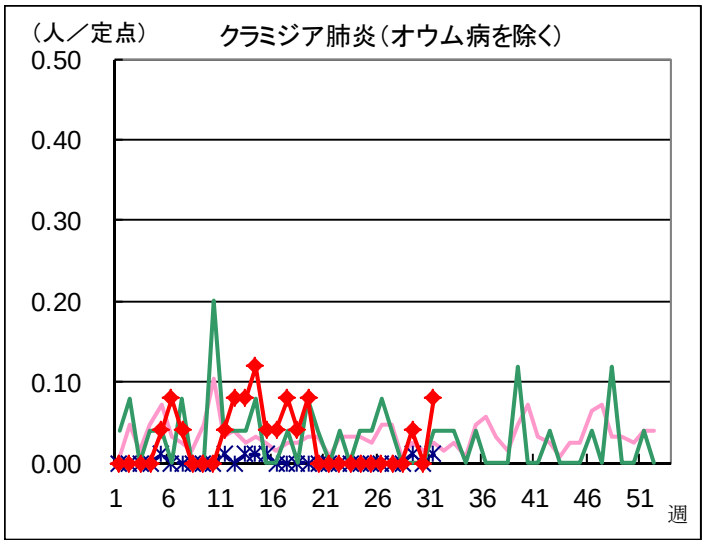


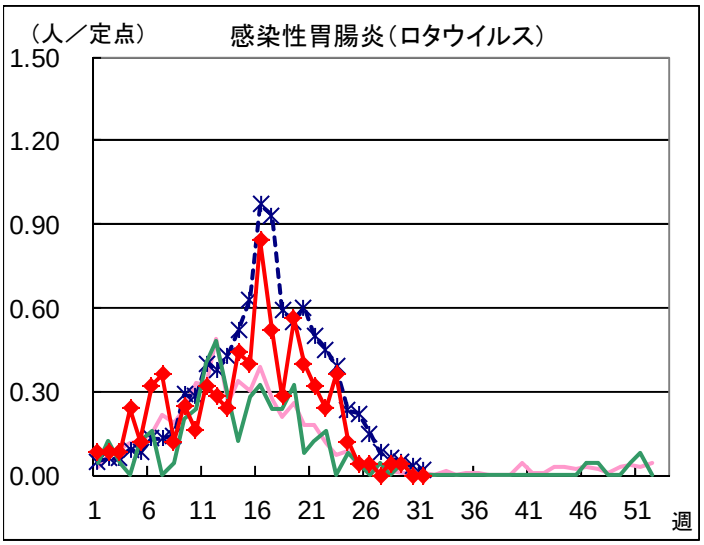
◆ 基幹定点

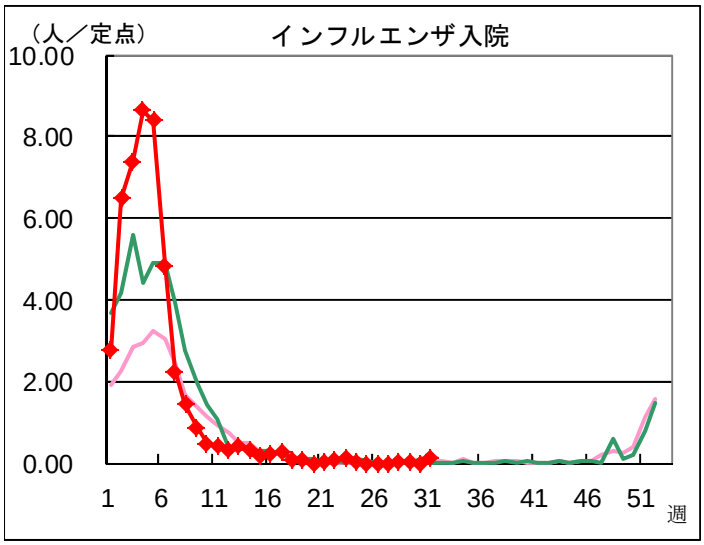

（人／定点）
細菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
東京都(2019年)
東京都(2018年)
過去5年平均(東京都)
全国(2019年)
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
無菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
マイコプラズマ肺炎
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
感染性胃腸炎（ロタウイルス）
1.50
1.20
0.90
0.60
0.30
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
インフルエンザ入院
10.00
8.00
6.00
4.00
2.00
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況（インフルエンザウイルスを除く）

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
6/19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-28型
6/19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-28型
7/8	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
7/8	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
7/9	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エコーウイルス25型 ヒトヘルペスウイルス7型
7/9	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトヘルペスウイルス6型
7/10	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/10	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/11	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-25型
7/11	不明発しん症	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群10型
7/12	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
7/12	手足口病	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/12	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/12	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
7/16	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスB型
7/16	手足口病	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/16	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトパレコウイルス3型
7/17	手足口病	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/17	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/18	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/18	不明発しん症	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

29週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年29週				
2018-2019年 シーズン累計*	156	275	42	2

＊2018-2019年シーズンの開始は第36週（2018年9月3日～）

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2019年							
	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週
アデノウイルス	2	4	1		2			1
コクサッキーウイルスA群	1	2	5	4	11	9	15	12
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								1
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス					1	1		
ライノウイルス	3	1		1	2			
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス			2		1			
水痘・帯状疱しんウイルス		2			1		1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	5	1	1	1	1	1	3	3
EBウイルス	1			1			1	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19			1	1	1	2	2	
RSウイルス			2		1	1	1	1
ノロウイルス				2				
ロタウイルス	2	1				1		
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09					2			
インフルエンザウイルスAH3亜型				1	1			
インフルエンザウイルスB型Victoria系統	1	1	2					
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス						1		1
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1				1	2
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1			1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型								1
A群溶血性レンサ球菌T-28型		1	2	1		4		
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1		1			1		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2019年22週～2019年29週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	7	13	20	11	10	60	3	6	8	7	1	34	9	9		3		3		
アデノウイルス		6											1	1		2				
コクサッキーウイルスA群						46			5			7						1		
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス												1								
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス						2														
ライノウイルス						1			1		1	4								
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス						1							1	1						
水痘・帯状疱しんウイルス					4															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1						4	1			10								
EBウイルス										2		1								
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻しんウイルス																				
麻しんA型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19							1	1				5								
RSウイルス	6																			
ノロウイルス				2																
ロタウイルス				4																
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													2							
インフルエンザウイルスAH3亜型													2							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													4							
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス				1		1														
A群溶血性レンサ球菌T-1型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-28型			8																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			3																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

＜感染症豆知識＞

麻疹対策

世界の現状と日本の現状

麻疹は、重症疾患であるがワクチンで防げる代表的な vaccine preventable disease (VPD)である。かつては1回の接種で一生涯麻疹に罹ることはないとされていたが、より確実に、より長期に免疫を維持し、人々が麻疹から免れるためには2回のワクチン接種が必須であるということが世界中での了解となった。麻疹に対する免疫がない人が麻疹ウイルスの曝露を受けると典型的な麻疹を発症する。1回接種の場合には、軽く発症する（修飾麻疹）ことがあり、また他の人に感染させ麻疹が広がることがある。2回接種を受けた人では、本人も気づかぬくらい軽く発症することが稀にあるが、他の人に感染を広げることはほとんどない。ここに2回接種の大きい意味がある。

2回の麻疹ワクチン接種率が高い国では、麻疹排除を達成してきており、日本も2015年にその仲間入りをした。排除達成国であっても麻疹の免疫を持っていない人は大人を中心にして一定数おり、この中での小流行が時々見られる。接種率の低い国では、ワクチン未接種の子供を中心にして流行が途切れることなく続いている。いったん麻疹の発生数をかなり減少させても、ワクチン接種率が低下するとたちまち大流行が再び発生する。また国境をまたいだ人の動きは、麻疹ウイルスの移動も容易にし、各地での麻疹再出現が新たな問題となっている。

油断をすると再び大流行となる麻疹を抑え込むには、世界のどこにいても2回の麻疹ワクチン接種が行われるようにしなくてはいけない。日本でいえば、定期接種での MR ワクチン接種率を高く維持し続けること、医療機関・学校・幼稚園・保育所・空港施設の職員など麻疹ウイルスに暴露しやすい人や麻疹が収束していない国へ渡航する人など、定期接種以外の年齢層であっても麻疹免疫をきちんと得ておくことが、本人の安全のために、そして周辺への広がりを防ぐために重要なことである。

（文責　川崎市健康安全研究所所長　岡部信彦）